

震災メモリアルパーク中の浜は「自然の脅威や震災の記憶を後世に伝える場」として2014年5月24日に開園しました。

震災前、中の浜は、海岸部に隣接する緑豊かなキャンプ場でした。2011年3月11日、中の浜には15mを超える津波が押し寄せました。キャンプ場の施設や大きく育った美しい森が津波によって失われました。

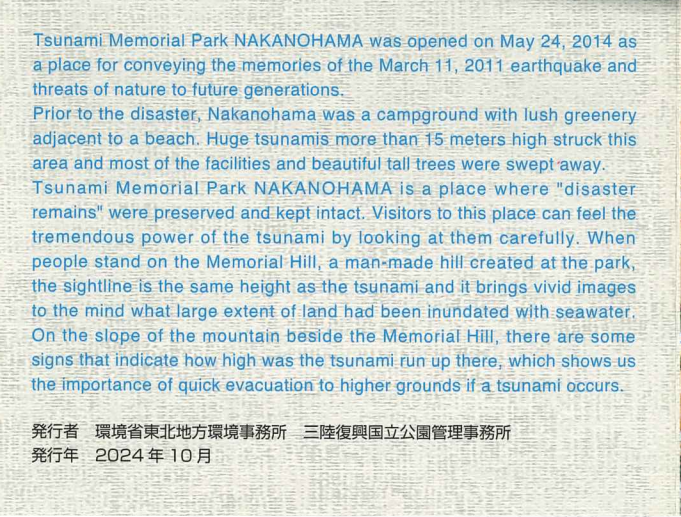
震災メモリアルパーク中の浜は、被災した施設を被災したときのままに見せる「震災遺構」の公園です。「震災遺構」を見ることで凄まじい津波の威力を感じることができます。

公園内の「展望の丘」に登れば、視線を津波と同じ高さに置くことができ、普段は陸地である広大な範囲が津波に没したことがわかります。展望の丘の脇にある斜面には、そこを駆け上がった津波の高さを示す目印が付けられており、いち早く高台に避難することの大切さを感じさせます。

東日本大震災前の中の浜キャンプ場



東日本大震災直後の中の浜キャンプ場



Tsunami Memorial Park NAKANOHAMA was opened on May 24, 2014 as a place for conveying the memories of the March 11, 2011 earthquake and threats of nature to future generations.

Prior to the disaster, Nakanohama was a campground with lush greenery adjacent to a beach. Huge tsunamis more than 15 meters high struck this area and most of the facilities and beautiful tall trees were swept away.

Tsunami Memorial Park NAKANOHAMA is a place where "disaster remains" were preserved and kept intact. Visitors to this place can feel the tremendous power of the tsunami by looking at them carefully. When people stand on the Memorial Hill, a man-made hill created at the park, the sightline is the same height as the tsunami and it brings vivid images to the mind what large extent of land had been inundated with seawater. On the slope of the mountain beside the Memorial Hill, there are some signs that indicate how high was the tsunami run up there, which shows us the importance of quick evacuation to higher grounds if a tsunami occurs.

発行者 環境省東北地方環境事務所 三陸復興国立公園管理事務所  
発行年 2024年10月



三陸復興国立公園  
SANRIKU FUKKO National Park

Tsunami Memorial Park NAKANOHAMA

# 震災メモリアルパーク中の浜



三陸ジオパーク 震災伝承サイト

3.11 伝承ロード 登録



# 震災の痕跡をたどる

三陸地域には、震災遺構や震災の教訓を記した石碑が数多くあり、明治三陸地震津波(1896)、昭和三陸地震(1933)、そして東日本大震災(2011)の有様を我々に伝えてくれます。先人たちが残した津波の記憶をひも解いてみましょう。



▲摂待の津波石



▲たろう観光ホテル



▲震災メモリアルパーク中の浜



▲重茂(姉吉)津波石碑

## ●アクセスガイド

## ACCESS



### ●ルート1●

盛岡駅[在来線120分]

↓

宮古駅[バス25分]

↓

女遊戸バス停[徒歩25分]

↓

震災メモリアルパーク中の浜

### ●ルート2●

宮古北IC[車20分]

↓

国道45号線久慈方面

↓

震災メモリアルパーク中の浜

# 3.11 あの日を語り継ぐ

三陸地域は、これまでも幾度となく大津波に襲われ、尊い命が失われてきました。被災地の人々は「震災語り部」として、津波の脅威を後世に伝え、防災や避難の大切さを語り、将来に向けて備えをする大切さを訴えています。

## 中の浜語り部

震災メモリアルパーク中の浜では、津波の威力を感じさせる震災遺構、津波のことを科学的に理解できる展示解説などを使いながら、語り部たちが実際の避難時に体験したことをお話しします。



開伊川に押し寄せた津波(宮古市新川町)

## 田老語り部

「学ぶ防災プログラム」では、世界にも類を見ない巨大な防浪堤、震災遺構「たろう観光ホテル」などの施設を見学し、東日本大震災の映像を見ながら、万一の時の備えや避難の大切さを学びます。



### ◎お問合せ

震災メモリアルパーク中の浜ガイド(有料) / 休暇村陸中宮古 019-62-9911

田老学ぶ防災ガイド(有料) / 宮古観光文化交流協会「学ぶ防災」0193-77-3305

### ◎キャンプをしたい方

中の浜近くの高台のオートキャンプ場

姉ヶ崎オートキャンプ場(有料) / 休暇村陸中宮古 0193-62-9911

### ◎ウェブサイト

休暇村陸中宮古 URL: <http://www.qkamura.or.jp/miyako/>

## 震災遺構

破壊されたトイレ、炊事棟から津波の威力を感じることができます。

### トイレ・炊事棟

管理棟をはじめとするたくさんの施設が流出してしまったにも関わらず、このトイレが残っているのは、海側にある岩稜により津波の威力が抑えられたためだと推測されます。また、炊事棟では、直径40cmあまりのコンクリート柱がへし折られ、鉄筋が捻じ曲げられている姿を間近に観察できます。



### 漁具（うき）

震災メモリアルパーク中の浜の入口近くにある樹木には、高い位置の枝に漁具（うき）が絡んでいます。漁具の位置は海拔17.3mにあり、津波により押し上げられたのち波が引く際に枝に絡まって残されたものだと考えられます。なお、中の浜を襲った津波の最大遡上高は海拔21mとされています。



## 展望の丘

津波と同じ高さの目線に立つことで、津波に没した範囲を感じることができます。



展望の丘の高さは海拔13m。丘の上に立って海を望むと、目線がここを襲った津波の高さになるよう設計されています。また、この丘は、大型トラック2,800台分の震災がれき由来の再生資材を用いて造成されています。



## 展示広場

津波の脅威、被災地への支援、復興に向けての歩みなどが紹介されています。



津波の脅威のみならず、津波の科学的側面、東日本大震災の津波が世界に及ぼした影響、世界中から寄せられた支援などについて、学ぶことができるよう解説展示をそろえています。また、休憩できるデッキなども備えています。



## 復興ふれあいの森

震災前にあった豊かな森を取り戻すための植樹などの取組が進められています。



かつての中浜キャンプ場は、緑豊かな森の中でしたが、津波により樹木が流失し荒涼とした裸地となりました。周囲の野山と同じ種類の樹木を植えて森を再生する取組を行っています。

# 震災メモリアルパーク中の浜

# 案内図

# Tsunami Memorial Park Nakanohama Area Map

岩手県宮古市崎山第3地割123

復興  
ふれあいの森づくり  
エリア  
Reforestation Area

展望の丘  
Memorial Hill  
海拔13m

展示広場  
Exhibition Area

震災遺構 (炊事棟)  
Disaster Remains (Kitchen)



津波遡上高 21m

震災遺構 (トイレ)  
Disaster Remains (Lavatory)



海拔8m

見学デッキ

震災遺構 (女遊戸防潮堤)  
Disaster Remains (Destroyed seawall)



**P** 駐車場

環境配慮型トイレ

展望所

津波遡上高表示

バリアフリー対応区間

展望デッキ (Observation deck)



展望デッキ

海拔30m

エントランス  
Entrance

海拔3m

震災遺構 (漁具)  
Disaster Remains (A buoy)



至 R45

太平洋